



最優秀賞

宮城県 扇屋商事 株式会社
「地域に密着した総合的社会的貢献」事業



扇屋商事株式会社 代表取締役 社長
石田道雄さん

選考理由

社会貢献活動審査委員会 委員
野口昇氏



扇屋商事株式会社は、長年にわたり盲導犬育成支援の募金活動、来店者・従業員による献血活動、AEDの設置、途上国の子どもたちにポリオワクチンを送るためのペットボトルキャップの回収と募金、地域の清掃活動など広範な社会貢献活動を実施され、また、これら募金の総額も顕著である。2008年1月に、AEDを使用し心肺停止に陥った男性客を救助したことは特筆に値する。優れた社会貢献活動に敬意を表したい。

地域のニーズを踏まえ、地域で求められる社会貢献活動に自主的、積極的に取り組む

スタッフの自主性に基ついた社会貢献活動

地域に親しまれ、愛されるアミューズメント企業をめざす扇屋商事は、「パラディソ(Paradiso)」のホール名で宮城県内に17店舗を展開している。地域重視の姿勢は実に徹底しており、スタッフや従業員は宮城県出身者を優先的に採用することで就労機会を提供したり、ホールの景品コーナーに米・醤油・味噌などの宮城県産品を並べ、地産地消をアピールしたりしている。そうした地域密着、地元重視の企業姿勢が宮城県内の遊技ファンに浸透しているからだろうか、同社、同グループが社会貢献、地域貢献のアクションを起こすと、多くのホール来店客は協力や支援を惜しまないという。「県民のみならず、当グループのサポーターとして支えてくれていると感じることがあります」と、統括本部長の名護洋一さんは語る。

扇屋商事、パラディソグループの社会貢献活動の特徴は、トップダウン型の指示に基づくものではなく、各店舗のスタッフが主体となって自主的に取り組んできたものを総務事業部があらためて整備し、全社的に展開するというものである。どのような社会貢献活動を行うかは、それぞれの店舗が立地する地域の特性や要望を把握し、それを考慮したうえで決められる。たとえば地域住民の間で地震対策が急務となっていれば、災害用トイレを整備する。女性、高齢者、学童などを犯罪から守るための防犯対策が求められている地域では、店舗を取り囲む外壁に防犯ブザーを設置し、何かあったときにそれを押しってもらうようにしている。また、ロードサイドで広い駐車場を持つ店舗では、月2回の新台入れ替えの日を中心に献血検診車を呼び、来店客や従業員に献血を呼びかける。さらに、ほとんどのホールで地域の清掃活動に取り組んでいるほか、電光掲示板を活用し、交通安全標語や振り込め詐欺被害予防の広報活動などに協力している。



ペア200組を無料招待した「子育てトーク&マタニティコンサート」の様子



ホール景品コーナーに陳列されている宮城県の特産品



盲導犬育成事業支援のため全ホールに設置した端玉・メダル募金箱



救急救命講習を受講する従業員



設置した災害用トイレ

盲導犬育成支援、AED設置、子育て支援など幅広く

そうした各店舗の取り組みを積み上げる形で、現在、全ホールで展開しているのが、盲導犬育成事業を支援するための募金活動と犯罪被害者支援のための募金活動である。とくに盲導犬育成事業支援には早くから取り組み、日本盲導犬協会の募金箱のほかに、端玉やメダルも募金できる特製の募金箱を独自に製作し、継続的な募金活動を行っている。

またパラディソでは、店舗近隣の地域住民や来店客が救命措置を必要とする場合に備え、全ホールにAED(自動体外式除細動器)を設置している。平成20年1月には、遊技中の男性客が心肺停止で倒れ、従業員がAEDによる救命措置を施して一命を取り止めたという事例があり、これは地元の新聞やテレビなどでも報道された。こうしたことができたのも、単にAEDを備えるだけでなく、店舗のほとんどのスタッフが救急救命講習を受講し、その技術を習得しているからである。

さらに昨年、同社の社会貢献活動の領域を広げることになったのが、「子育てトーク&マタニティコンサート」というイベントである。「少子化」が社会問題となっているが、地域の明るい未来を担う子どもたちの健やかな成長と、それを見守る立場にある母親や父親を応援することで、地元の宮城県に貢献していきたいという思いから開催したものだ。タレントの松居一代さんによる子育てトークと、ヴァイオリニストの奥村愛さんによるミニクラシックコンサートに、ペア200組を一般公募したうえで無料招待した。この試みは、女性従業員が半分を占める同社にとって社内的にもインパクトがあったようで、同社の産休制度の啓蒙・認知にも役立ったという。

今後は、発展途上国の子どもたちへポリオワクチンを贈るためのペットボトルキャップの回収活動も全店で展開していく予定という。地域のため、人のため、できることを自ら進んで実践するという扇屋商事の社会貢献活動の基本は、これからも変わることはないだろう。